

安全データシート

改訂日:2020年4月30日

1. 製品及び会社情報

製品名
会社名
住所
電話番号

けい酸カリウム溶液
米山薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
BD0020

整理番号

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性: 区分1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分1

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

重篤な眼の損傷

注意書き

【安全対策】

保護手袋および保護眼鏡/保護面を着用すること。

ミストを吸入しないこと。

取り扱い後はよく洗うこと。

【応急措置】

皮膚(または毛)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。

皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

汚染した衣類は再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し呼吸しやすい姿勢で休息させること。

直ちに医師に連絡すること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

化学名

けい酸カリウム水溶液

成分及び含有量

 $K_2O=17\sim 18\%$ 、 $SiO_2=28\sim 30\%$

化学式又は構造式

 $K_2O \cdot nSiO_2 \cdot xH_2O$ ($n=1.9\sim 3.7$ の単一組成)

官報公示整理番号(化審法、安衛法)

(1)-459

化学物質を特定できる一般的な番号

CAS RN: 1312-76-1

危険有害成分

ケイ酸カリウム

4. 応急措置

吸入した場合

鼻孔を多量の水で洗い、うがいをする。必要ならば医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合

汚れた衣類や靴等を脱ぐ。アルカリ性なので石鹸は用いないで湯又は水でぬるぬる感がなくなるまで洗い流す。

眼に入った場合

速やかに清浄な水で最低15分間の洗浄を行い、医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合

水で口中を洗い、水又は牛乳を飲ませる。意識のない場合は水等を与えてはならない。

速やかに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

水、粉末、泡等、周辺の火災に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

該当情報なし。

火災時の特定危険有害性

不燃性である。周辺の火災に適した消火を行う。

特定の消火方法

該当情報なし。

消火を行う者の保護	消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項	作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。
保護具及び緊急時措置	適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	流出したもの、又は洗浄した水が河川等に排出され、環境への影響を起さないように注意する。
回収、中和	少量の場合には、おがくず・ウエス・砂などで吸収させて空容器に回収する。 回収できない残分は塩酸又は硫酸で中和する。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	漏れ、あふれ、拡散しないようにする。
局所排気・全体換気	局所排気装置を設置する。
安全取扱い注意事項	
接触回避	吸入や皮膚への接触を防ぐため、保護具を着用すること。
保管	
技術的対策	濃厚な酸を加えてはいけない。
適切な保管条件	換気の良い冷所に、直射日光を避けて保管する。
混触危険物質	濃厚な酸
容器包装材料	ポリプロピレン
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度等	
管理濃度	未設定
日本産業衛生学会	未設定
ACGIH	未設定
設備対策	取扱いについては、できるだけ密閉化を行うか、局所排気装置を使用する。
保護具	
呼吸器の保護具	保護マスクを着用する。
手の保護具	保護手袋を着用する。
目の保護具	ゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	作業衣を着用する。
衛生対策	取扱後はよく手を洗うこと。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	液体
色	無色又はわずかに着色
臭い	無臭
融点	該当情報なし。
沸点	約100～120℃
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし。
引火点	該当情報なし。
自然発火点	該当情報なし。
分解温度	該当情報なし。
pH	13以上
動粘性率	該当情報なし。
溶解度	水に任意に溶解する。
n-オクタノール／水分分配係数	該当情報なし。
蒸気圧	該当情報なし。
密度(比重または嵩比重)	1.31～1.58
相対ガス密度	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
安定性	通常の取り扱いに於て安定である。
反応性	酸と反応してSiO ₂ のゲルを生成する。
避けるべき条件	両性金属と接触させない。濃厚な酸を加えない。空気との接触を避ける。
避けるべき材料	アルミニウム、亜鉛、スズ、鉛等の両性金属
危険有害な分解生成物	該当情報なし。
11. 有害性情報	
急性毒性	該当情報なし。
皮膚腐食性・刺激性	皮膚や粘膜を腐食する。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	眼の粘膜を腐食する。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	該当情報なし。

生殖細胞変異原性		該当情報なし。
発がん性		該当情報なし。
生殖毒性		該当情報なし。
特定標的臓器・全身毒性-単回暴露		該当情報なし。
特定標的臓器・全身毒性-反復暴露		該当情報なし。
誤えん有害性		該当情報なし。
12. 環境影響情報		
生態毒性	短期 (急性):	該当情報なし。
	長期 (慢性):	該当情報なし。
移動性		環境中では水に溶解し、容易に移動する。
残留性/分解性		土壌中で容易に分解する。
生体蓄積性		該当情報なし。
13. 廃棄上の注意		
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報		廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意		
国連番号		3266
品名(国連輸送名)		その他の腐食性物質(無機物,液体,アルカリ性のもの)
国連分類		クラス8
容器等級		III
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策		運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。密閉容器とする。その他法令に基づく。
国内規制がある場合の規制情報		
陸上輸送		消防法の規定に従う。
海上輸送		船舶安全法の規定に従う。
航空輸送		航空法の規定に従う。
緊急時応急措置指針番号		154
15. 適用法令		
化学物質管理促進法(PRTR法)		指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法		毒物及び劇物に該当しない。
労働安全衛生法		名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。
消防法		危険物に該当しない。
船舶安全法		腐食性物質
16. その他の情報		
引用文献		15308の化学物質(化学工業日報社) Merck Index 14th
		記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。